



県ホームページ(置賜総合支庁: [http://www.pref.yamagata.jp/regional/okitama\\_bo](http://www.pref.yamagata.jp/regional/okitama_bo))でもご覧頂けます。

平成26年4月1日発行 発行元 / 山形県置賜総合支庁 No.133

伊佐沢の久保桜(長井市) 樹齢約1200年といわれる、国指定天然記念物のエドヒガンザクラ。開花期間中の夜にはライトアップが実施され、幻想的な雰囲気になります。  
■所在地: 長井市上伊佐沢蜂屋敷2021 (産業経済企画課観光振興室)

## 特集

# 就任のあいさつ

置賜総合支庁長  
齋藤 稔



この4月から置賜総合支庁長に就任しました齋藤稔です。

置賜総合支庁で勤務するのは今回が初めてですが、置賜地域は、これまで抱えてきた印象のとおり、歴史、文化、産業、農業、自然、そして人情の豊かさなど、豊富な資源と人材に恵まれた素晴らしい地域だということを実感しつつあります。こうした魅力溢れる地域で職員の皆さんと一緒に仕事ができることは、大変光栄であり、また楽しみでもあります。

今年は「山形 DESTINATION キャンペーン」があり、山形の魅力を全国に発信するまたとない機会です。山形県の南の玄関口とも言える置賜地域でも、この機会を存分に活かして、観光サイドの職員だけでなく、置賜総合支庁のすべての職員が発信力を磨き、当地域の魅力や素晴らしさを全国に向けて積極的に発信していきましょう。

DC以外にも、置賜総合支庁で展開している施策や課題は数多くあります。昨年の大雨関連の災害復旧もこれからが本番です。現場主義を徹底し、総合支庁内の横の連携はもちろんのこと、市町村や関係者・関係機関と十分連携しながら、地域の皆様から真に喜ばれる仕事をしていただきたいと思います。

今、5年前の大河ドラマ「天地人」を改めて観ています。置賜総合支庁の皆さんも、景勝・兼続のように、日頃から職員間のコミュニケーションを密にしてしっかりした信頼関係を醸成し、職員が一丸となって置賜地域を盛り上げていきましょう。よろしくお祈りします。

☎総務課 0238-26-6006

## 事業報告 東日本大震災復興祈念事業(米沢会場)

☎総務課防災安全室 0238-26-6007

### 元気、希望。震災から3年 復興への誓い、新たに

平成23年3月11日に発生した東日本大震災は、東北地方を中心に未曾有の被害をもたらしました。大震災から3年が経過したものの、復興は道半ばの状況であり、現在も多くの避難者の方々が置賜地域に避難しています。

大震災の犠牲者を追悼するとともに、今後の復興・再生を通じた東北全体の発展を誓うため、東日本大震災復興祈念事業が開催されました。

復興祈念事業の一環として、3月8日(土)には、九里学園教育研究所教育センターホールでシンポジウム「あの日(3.11)」～すべての思いを若い世代



に～が開催され、高校生を中心とした約200名の参加者が、大震災の避難者の声に真剣に耳を傾けました。

また、3月11日(火)には、伝国の杜置賜文化ホールにて「復興のつどい・追悼式」が開催され、第1部「まーちゃんバンドコンサート」、第2部「追悼式」、第3部「大抽選会」が開催され、避難者約200名、一般参加者約200名、合計約400名の皆様にご参加いただきました。

特に、第2部追悼式は、劇団菜の花座による詩の朗読、有志による合唱を皮切りに、政府主催「東日本大震災三周年追悼式」の中継を行うことにより、大震災で犠牲になられた方々を静かに悼み、復興への誓いを新たにしました。



# 白布温泉開湯700年、そして次の100年へ

この人に聞く

## 遠藤 秀平

### 白布温泉街づくり委員会 委員長



私たち白布温泉は平成23年6月、くしくも東日本大震災の3ヵ月後に開湯700年を迎えました。白布温泉の源泉地では、開湯100年ごとに地蔵を1尊ずつお供えするという慣わしがあります。現在7尊が並んだかたちとなって、温泉を守ってくださっています。



白布温泉観光協会では、あふれんばかりの豊富な自然湧出の天然温泉を大切に守りつつ、お越しいただいたお客様にゆったりとお寛ぎいただける温泉地をめざしています。

四季折々の自然を満喫いただけるよう、夏季は沿道の花植えや清掃活動、冬季は雪ぼんぼり点灯で静かな冬の景色を演出しています。

また天元台との連携をより進め、連携宿泊プランの造成や各種イベント共催なども行っています。白布エリアでの西吾妻山岳観光はこれからも重要な資源と考えています。



最近、白布温泉では各宿や商店などの女性メンバーも街づくりに積極的に参加し、少しずつですが新しい力が結集してきています。今年2月には観光地域づくり活性化事業の支援を受けて、白布温泉の街あるきのパンフレットを女性メンバーで作成。その後も定期的集まりながら、お客様へのおもてなしや環境整備、白布温泉の未来像を熱く議論しています。今後はハードの面での充実も図りながら、今後も愛される”小さな”温泉街をめざしていきたいと思えます。



最後に、今年は山形DC本番の年ということで、朝ごはんプロジェクトをはじめ訪れたお客様へのサービス充実を図っていきます。

”山形日和。白布温泉のおもてなしプラン”は

- 1 笑顔でみなさまにごあいさつ致します。
- 2 温泉街沿道をお花でいっぱいにしておもてなし致します。
- 3 街中をいつもきれいにしておもてなし致します。
- 4 温泉で心も体もしっかり癒してさし上げます。

です。お越しになったお客様を、いつも温かくお迎えできるように一同でおもてなししてまいります。みなさんも、ぜひ白布温泉へ足を運んでください。応援よろしく願いいたします。

## イベント やまがた花回廊2014キャンペーン開催 産業経済企画課観光振興室 0238-26-6046

4月12日(土)から7月13日(日)までの3ヶ月間、置賜・上山地域で、春の観光キャンペーン「やまがた花回廊キャンペーン」が開催されます。

「置賜さくら回廊」をはじめとする桜に始まり、つつじ、ばら、あやめ、ゆり、そして紅花まで、置賜各地で美しい花々が次々と咲き競い、「花ウォーク」など地域の皆様による温かいおもてなしもうれしい、楽しいイベントが満載です。

ホームページでは、桜の開花情報や地域のイベント情報が随時更新されています。お出かけの際はぜひこちらのホームページをチェックし、置賜自慢の花めぐりをお楽しみください。

\* ホームページアドレス <http://yamagata-hanakairou.jp/>



やまがた花回廊

検索

## 事業報告 中津川地区メイプルシロップ採取体験ツアー

農村計画課 0238-26-6056

都市在住者を対象にしたメイプルシロップ採取体験ツアーが、3月15～16日に飯豊町中津川地区で開催され、首都圏から11名が参加しました。当ツアーは、普段の生活では体験することのできないメイプルシロップの採取から料理までを体験し、住民との交流を通して里山暮らしの魅力発見につなげようと開催されたものです。置賜総合支庁では地域資源を活用した農山村の活性化に向けた取り組みに支援を行っています。

2mを超える積雪がある中、15日にはかんじきを履き片道約1時間の行程でイタヤカエデに仕掛けた樹液のボトルを回収。16日に樹液を30分の1にまで煮詰め、濃厚な甘さを持つメイプルシロップを完成させ、試食を行い2日間のツアーが終了しました。中津川地区では、今後メイプルシロップを商品化しオリジナルの特産品として売り出していくことにしています。



## I 予算編成の基本的考え方

第3次山形県総合発展計画における置賜地域の発展方向の実現に向けて、景気や雇用情勢に配慮しつつ、置賜地域短期アクションプランの推進に重点的に取り組んでいきます。

## II 当初予算の概要

予算総額 8億2,916万円

※平成25年度当初予算 10億264万円

内  
訳

- |                                     |           |
|-------------------------------------|-----------|
| 1 置賜地域短期アクションプランの推進                 | 4,383万円   |
| テーマ1 生活を支え、「置賜」の活力を生み出す、足腰の強い産業群の形成 | 1,248万円   |
| テーマ2 住んで良かったと実感できる活力あふれる「置賜」の創造     | 728万円     |
| テーマ3 人々が行き交い豊かに暮らす魅力ある「置賜」に向けた基盤の整備 | 2,406万円   |
| 2 景気及び雇用情勢に配慮した施策の推進                |           |
| 緊急雇用創出事業(本庁予算)により実施                 |           |
| 3 道路・河川・ダム of 適切な維持管理               | 4億3,551万円 |
| 4 その他(施設維持管理費、報酬職員費など)              | 3億4,981万円 |

## シリーズ 万世大路・栗子隧道 No.10 ～明治の遺構・西口行在所跡～

☎建設総務課 0238-26-6099

右の石版画は旧栗子隧道西口の明治天皇行在所を中心に描写したものです。栗子隧道を含む苅安隧道は、道路延長約4里18町(18km)、勤労奉仕の総数1万5千人、地元民負担金9万5千円、国庫負担金2万2千円余、寄付金2千円を費やし、完成までに4年11ヶ月を要しました。

明治天皇のご巡幸は、明治14年10月3日のことであり、天皇はここで昼食をとられ、三島県令は高橋由一の描いた「栗子隧道西口の図」を献上しました。

南置賜郡万世新道ノ内滝ノ沢東ヨリ栗子隧道西口行在所ヲ望ム図



## 事業報告 東北中央自動車道(仮称)栗子トンネルの貫通について

☎道路計画課 0238-26-6079

平成29年度の供用に向けて、国が整備を進めている東北中央自動車道(福島～米沢間)の(仮称)栗子トンネルの貫通式が、3月22日トンネル内の県境付近において、吉村山形県知事をはじめとて、太田国道交通大臣、根本復興大臣、佐藤福島県知事などの関係者が出席し行われました。

(仮称)栗子トンネルは、福島県と山形県県境に位置する延長約9kmで、完成すると無料道路では全国最長の道路トンネルとなり、有料道路も含め全国で5番目(東北で1番)に長い道路トンネルとなります。

東北中央自動車道の整備により、置賜地域と福島県をはじめとした太平洋側地域との所要時間が大幅に短縮されるなど、置賜地域の観光や物流など地域経済に大きな効果をもたらします。

この(仮称)栗子トンネルの貫通により、東北中央自動車道の整備促進に弾みがつき、平成29年度の供用開始への期待が益々高まってきました。



山形側での貫通発破

## 事業報告 主要地方道 高畠川西線【中小松工区】の開通について

☎道路計画課 0238-26-6079

県道高畠川西線は、東南置賜地区を東西に横断する幹線道路であり、地域経済や生活を支える道路であるとともに、災害時の救援活動や緊急物資輸送等の役割を担う緊急輸送道路として重要な道路でもあります。

今回開通した区間は、県道川西小国線とくい違い交差となっており、狭隘で大型車の右左折も困難な状況でした。これらを解消し、円滑な通行や通学児童の安全確保を図るとともに、公立置賜総合病院や観光施設などへのアクセス強化を目的として、平成15年度よりバイパス事業として整備してきました。

このたび、関係各位のご協力により、平成26年2月20日にJR米坂線羽前小松駅～犬川駅間の新たな踏み切りを含めたバイパスが開通しました。

開通に先立ち、地元関係者等により安全祈願祭がとり行われ、地域全体で安全な通行を祈願していただきました。



現道終点部から東側を望む



新道踏切西側から東側を望む

相談項目 (担当電話番号)	日時	会場・その他
心の健康相談 ※ 精神保健福祉担当 (0238-22-3015)	原則毎月第2木曜日 (14:30~)	置賜保健所
	原則毎月第3水曜日 (10:00~)	置賜総合支庁西庁舎
女性の健康相談 ※ 保健支援担当 (0238-22-3205)	毎週火曜日 (13:00~)	置賜保健所
エイズ・性器クラミジア・B型肝炎・C型肝炎 来所相談・検査 感染症予防担当 (0238-22-3002)	毎週月曜日 (受付時間13:00~14:00)	置賜保健所 無料・匿名で受けられます。

- ※は予約制です。詳しい日時は各担当までお問い合わせください。
- 費用は無料です。
- 電話での相談は、随時受け付けています(平日8:30~17:15)。お気軽にお電話ください。

お知らせ

4月2日は世界自閉症啓発デーです

毎年4月2日は、世界中の人々に広く自閉症を理解してもらう取り組みが行われています。

自閉症の人たちは、脳の発達の仕方の違いから、「他の人の気持ちや感情を理解すること」「言葉を適切につかうこと」、「新しいことを学習すること」、及び一般的な「常識」を身につけることなどが苦手です。また、自分の感じたままに話したり、行動したりすることがあり、真面目に取り組んでいても、誤解されることがあります。

自閉症の人は、純粋で一生懸命です。周囲の方々が、特性を理解して関わり、「よい点」を見つけるようにしてもらおうと社会の中で生き生きと暮らすことができます。

皆さんもこの機会に自閉症をはじめとする発達障がいについて考えてみませんか？



World Autism Awareness Day

☎地域保健予防課 0238-22-3015

「県民だより・うきたむ」4月の放送について

置賜総合支庁では、県行政に関する地域情報を、ケーブルテレビ(NCV9チャンネル)を活用し、ご紹介しています。

■放送内容

(1)地域と共に

やまがた花回廊キャンペーン (観光振興室)

(2)スポット放送

狂犬病予防注射のお知らせ (生活衛生課)

■放送日時

- ・4日・11日・18日・25日(毎週金曜日)  
10:30~10:45、21:30~21:45(1日2回放送)
- ・6日・13日・20日・27日(毎週日曜日)  
19:00~19:15(1日1回放送)

☎総務課 0238-26-6100

犬を飼っている方へ

＊狂犬病予防注射集合注射がはじまります

狂犬病は哺乳類のほとんどの動物が感染し、発症したら100%死亡する恐ろしい病気です。

毎年、東南アジア地域ではいまだに犬に咬まれた人が狂犬病を発症し約3万人が死亡しています。

日本も50年以上前には狂犬病の流行がありました。狂犬病予防法により犬の登録、予防注射、輸入動物の検疫が行われ、世界でも数少ない狂犬病の発生がない国となりました。しかし、一昨年の外国船で飼われていた狂犬病予防注射を受けていない犬が上陸し日本人が咬まれてしまったという事件や昨年の台湾での54年ぶりの狂犬病発生などがあり、日本でも狂犬病が発生しないとはいえません。

飼い犬を登録し、毎年、狂犬病予防注射を受けさせることは飼い主の社会に対する大事な義務です。狂犬病の集合注射は4月から始まりますので、必ず受けてください。また、動物病院でも狂犬病予防注射は受けられます。

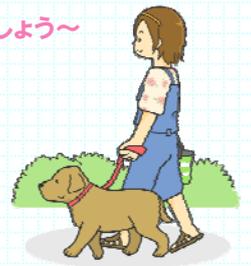
＊リードは犬と飼い主の命の絆です

～放さないよう、放れないようにしましょう～

毎年、春先には飼い犬が逃げたという相談を多く受けます。犬が放れてしまうと、他人を咬んでしまう危険性があるばかりでなく、交通事故にあったり、藪に入ってダニが付いたり、蛇にかまれたり、拾い食いをして病気になるなど、犬にとっても危険がいっぱいです。

チェーン、首輪、金具が緩んでいないか、壊れていないか、サークルや犬舎の鍵はかけているか、玄関が開けっ放しになっていないかなど、犬が逃げないように点検してください。また、必ずつながる電話番号を書いた迷子札を首輪につけるなど、万一の場合に備えてください。

リードは犬と飼い主の命の絆です。放さないよう、放れないようにしましょう。



☎生活衛生課 0238-22-3750

発行元

置賜総合支庁 総務企画部  
総務課 総務係

TEL 0238(26)6100

FAX 0238(24)1402

皆さまのご意見・ご感想をお待ちしております。

いま・ここ・おきたま

桜の便りもちらほらと聞こえるようになってきました。今回初めて置賜地域に異動になり、置賜の自然や文化に触れることを楽しみに赴任された方も多いのではないのでしょうか。

置賜総合支庁では、障がい者が自立して安心して暮らすことができる地域社会を目指して、障がい福祉サービス事業所等の製品を販売するコーナー「愛べ」を、本庁舎と西庁舎の売店に設置しています。心を込めて作った手織り製品、陶器、木製品などのほか、お菓子類も販売しております。(福祉課)

